

沿 革

年	月	事 項
1949	5	名古屋大学は学制改革により新制大学として文、教育、法経、理、医及び工の6学部で発足
同	7	教養部、瑞穂及び豊川の2分校の形で設置(外国語は英語、ドイツ語、フランス語)
1950	4	法経学部が法学部と経済学部に分離
1951	4	農学部設置
1952	4	2分校を統合し、瑞穂分校跡に名古屋大学分校(学内規定により教養部と称する)設置
1958	3	名古屋大学教養部「紀要」第1輯発行(一 1976年3月第20輯。1967年3月第11輯より『紀要(外国語・外国文学)』として分冊で発行)
1963	4	分校、法令上の教養部になる
1964	3	教養部が瑞穂地区から東山地区へ移転
1965	3	教養部に国公立大最初の2視聴覚教室設置
1969	11	名古屋大学改革試案研究委員会設置
1971	4	46カリ実施
同		ロシア語開講
同		保健管理センター設置
1972	9	教養部大学問題検討委員会設置
1974	4	語学センター設置。英語、ドイツ語、フランス語の3部門設置
同	9	語学センター発足
同	10	全学向け授業(特別研修コース)試行
同	11	教養部とりまとめ委員会設置
1975	1	「語学センターだより」No.1発行
同	3	語学センター新築(1704 m ²)
同	4	全学向け授業開講(特殊講義を含む)
同		保健管理センター廃止、総合保健体育科学センター設置
1976	3	教養部改革検討委員会設置
同	4	ロシア語及び中国語の2部門設置
1977	1	個人LL学習室開放試行
同	2	日本語部門設置
同	3	名古屋大学教養部・名古屋大学語学センター『紀要(外国語・外国文学)』第21輯発行
同	4	全学向け授業にロシア語及び中国語が加わる

1978	1	個人LL学習室開放
同	3	評議会、教養部改革案承認
同	4	全学向け授業に日本語が加わる
同	12	外国人留学生に日本語研修を試行
1979	2	教養部第2次改革検討委員会設置
同		総合言語センター創設のための委員会(「八人委員会」)設置
同	4	教養部外国語系列及び語学センターを統合し、総合言語センターを設置。応用言語科学、地域言語文化、比較言語文化の3部設置
同		教養部・総合言語センター事務部設置、学事掛設置
同		名古屋大学総合言語センター共同利用委員会設置
同		全学向け授業改め特別研修コース・特殊講義(全学向け授業)開講
同	9	「言語センターだより」No.1発行
同		外国人留学生日本語研修コース設置
同		研究生受入れ承認
同	10	外国人留学生日本語研修コース開設
1980	3	名古屋大学総合言語センター『言語文化論集』第1巻発行
1981	9	外国人留学生日本語・日本文化研修コース設置
同	10	外国人留学生日本語・日本文化研修コース開設
1982	8	総合言語センター840m ² 増築
1983	4	言語教育科学研究委員会発足、音声教育、対照言語学、教育工学の3分科会発足
1984	2	北京第二外国語学院(中国)との部局間学术交流協定書調印
1985	4	カリキュラム改定
同		スペイン語初歩開講
同	5	吉林大学(中国)との大学間学术交流協定書調印
1986	3	ハーバード・エンチン研究所(アメリカ)との大学間学术交流協定書調印
同	10	学部長会で名古屋大学総合言語センター外国語教育検討小委員会設置承認
1987	4	特別研修コースに朝鮮・韓国語開講
1988	4	スペイン語学科設置、特別研修コースにスペイン語開講
同		大学院文学研究科日本語文化専攻(独立専攻)修士課程設置、日本語文化学、日本語教育学、現代日本語学、応用言語学の4講座設置
同		北京第二外国語学院(中国)との部局間学术交流協定更新
1989	4	総合言語センターの英語名Language Centerを改めCenter for Lingu

		istic and Cultural Research とする
同		特別研修コースにオランダ語とエスペラント開講
1990	4	文学研究科日本語文化専攻(独立専攻)博士課程設置
1991	4	総合言語センター改組、言語文化部(英語名 Faculty of Language and Culture)設置、応用言語科学、地域言語文化、比較言語文化、日本語文化の4研究系設置
同		特別研修コースにアイスランド語及び、従来教養部で行われていたラテン語とギリシア語開講
1991	4	「言語文化部だより」No.24 発行(「言語センターだより」のバックナンバーに続く)
同		大学院国際開発研究科国際開発専攻(第1専攻)設置
同	7	大学設置基準の大綱化
1992	4	大学院国際開発研究科国際協力専攻(第2専攻)設置
同		大学院人間情報学研究科物質・生命情報学専攻(第1専攻)設置
同	6	北京第二外国語学院(中国)との部局間学术交流協定更新
同	10	特別研修コースにイタリア語開講
1993	4	大学院国際開発研究科国際コミュニケーション専攻(第3専攻)設置。国際コミュニケーション、国際言語文化情報システム、言語教育科学、国際言語文化学、コミュニケーション技術論の5講座設置
同		留学生センター設置
同		日本語文化研究系を国際言語文化研究系に改編
同	10	情報文化学部設置
同		人間情報学研究科社会情報学専攻(第2専攻)設置。言語文化部は言語情報論講座(協力講座)に参加
同		特別研修コース(言語文化科目II)にインドネシア語開講
1994	4	朝鮮・韓国語学科設置
同		人間情報学研究科物質・生命情報学専攻博士課程(後期課程)設置
同		4年一貫教育開始
同		言語文化部事務室設置
1995	4	大学院国際開発研究科国際コミュニケーション専攻(第3専攻)博士課程(後期課程)設置。国際コミュニケーション、国際言語文化情報システム、言語教育科学、国際言語文化学、コミュニケーション技術論の5講座設置
同		特別研修コース(言語文化科目II)にポルトガル語開講
1996	4	人間情報学研究科社会情報学専攻博士課程(後期課程)設置
同	5	北京第二外国語学院(中国)との部局間学术交流協定更新

1998	4	大学院国際言語文化研究科日本語文化専攻(前期課程、後期課程)設置。日本語文化学、日本語教育学、現代日本語学、応用言語学、比較日本文化学の5講座設置 同研究科国際多元文化専攻(前期課程、後期課程)設置。多元文化論、先端文化論、現代アメリカ表現科学、現代東アジア表現科学、現代ヨーロッパ表現科学の5講座設置
同		情報メディア教育センター設置
1999	6	言語文化部・国際言語文化研究科公開講座「インターネットと英語学習」開講
同	10	特別研修コース(言語文化科目II)にアイヌ語開講
同	11	言語文化部・留学生センター公開シンポジウム「大学における外国語教育の現状と展望」開催
同	11	ブラジル連邦大学(ブラジル)との大学間学術交流協定書調印
2000	2	北京第二外国語学院(中国)との部局間学術交流協定更新
同	3	大学院国際言語文化研究科日本語文化専攻の論文集『言葉と文化』創刊号発行
同	6	言語文化部・国際言語文化研究科公開講座「性と文化」開講
2001	3	大学院国際言語文化研究科国際多元文化専攻の論文集『多元文化』創刊号発行
同	6	言語文化部・国際言語文化研究科公開講座「イメージと文化」開講
同	7	言語文化部・国際言語文化研究科公開講座「英語研究と英語教育のためのコーパス利用」開講
同		文学人文科学高等師範学校(フランス)との部局間学術交流協定書調印
2002	3	文系総合館新設
同	6	言語文化部・国際言語文化研究科公開講座「美と文化」開講
	9	吉林大学(中国)との大学間学術交流協定書調印
同		文系総合館運用開始(5・6・7階)
2003	2	ブリュッセル外国語大学(ベルギー)との部局間学術交流協定書調印
同	3	北京第二外国語学院との部局間学術交流協定書調印
同		言語文化部廃止
同	4	国際言語文化研究科拡充改組 高度専門職業人コース開設 日本語文化専攻日本語教育方法論講座開設 国際多元文化専攻ジェンダー論講座開設 国際多元文化専攻メディアプロフェッショナル論(連携)講座開設

同	6	国際言語文化研究科公開講座「都市と言語文化」開講
同	7	国際多元文化専攻メディアプロフェッショナル論講座開設記念シンポジウム開催
2004	4	国立大学法人発足
同	4	副研究科長、教育評議会評議員新規配置
同	6	国際言語文化研究科公開講座「古典を読み直す」開講